

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	保育園運営費委託事業			会計	款	項	目	大	小	
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保育課					
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	村山 智章					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	公立保育所以外の認可保育所に入園した児童の運営費を支給	意図	私立保育園の安定した運営及び環境を保持し、通園している保護者及び児童の福祉の増進を図る。
事業内容	公立保育所以外の認可保育所等に入所（園）している乳幼児の運営費（委託料）を各保育所に支給し、安心・安全な保育サービスを提供している。			
事業開始から現在までの状況変化	国の法律に基づき、毎年変わる保育単価をもとに各保育園に委託料を支払っている。保育需要は、首都圏近郊等で急激に高まる中、本市では、民設民営による保育所整備を進めており、当該事業は、保育所整備に比例し経費が拡大していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	延べ入所児童数	47,406	56,264	64,434	人	↑↑↑	
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 待機児童解消策として認可保育園7園、小規模保育事業所3園が新設されたことから委託料が増えている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,581,355,544	4,587,976,456	5,497,842,364				
事業費(b)(円)		3,575,177,044	4,585,834,456	5,495,575,064				
うち一般財源		1,027,766,442	1,488,708,587	1,937,371,486				
職員給与費(c)(円)		6,178,500	2,142,000	2,267,300				
人役・職員(人)		0.90						
人役・再任用(人)			0.90	0.90				
人役・臨職(人)				0.10				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	今後も保育所整備に伴う委託料支払い対象保育所は増加するが、更に適正かつ迅速な事務処理を行うよう努める。	③取組における課題(Check)	制度の拡充や単価改正などで事務量が更に増加している。
②H30に実施した取組(Do)	新規開設園に対し、制度や事務手続きの説明会を行い、速やかな事務を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	今後も保育所整備に伴う委託料支払い対象保育所は増加するが、更に適正かつ迅速な事務処理を行うよう努める。